

保幼小中一貫教育だより ～豊かな自然と豊かな人材で豊かなこどもを育てる～



豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第67号 R4. 4. 15

「東能勢小中学校」の歴史が始まりました

4月、小中一貫教育校として「東能勢小中学校」が開校しました。

子どもたちの進級・入学を祝うかのように、桜の花が満開に咲き誇る中、前期学部校舎および中・後期学部校舎それぞれで、開校宣言を行いました。

開校宣言

豊能町立東能勢小学校・中学校の輝かしい歴史と伝統を引き継ぎ、ここに併設型小中一貫教育校「豊能町立東能勢小学校・東能勢中学校」通称「東能勢小中学校」の開校を宣言いたします。

これまで賜りました保護者・地域の皆様方のご支援・ご協力に心より感謝を申し上げます。「東能勢小中学校」は、「保幼小中一貫教育」と「地域とともにある学校づくり」を柱とする新しい教育システムを取り入れ、学校・家庭・地域そして行政が一丸となって、子どもたちの教育活動に取り組みます。皆様方どうか今後とも、ご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。



【前期学部校舎の様子】



新入生16名



森田教育長の開校宣言



4年生代表児童のお迎えの言葉

【中・後期学部校舎の様子】



統括校長の式辞



生徒会長による歓迎の言葉



7年生代表による新入生の言葉

統括校長先生の式辞で「変わることは成長です。」という言葉がありました。新しい仕組みを活かし、子どもたちのさらなる成長を応援していきます。

「未来を拓く教育」をめざして

情報化や技術革新、グローバル化等により予測を越えて加速度的に社会状況の進展が予想されている中、学校教育では、子ども達にこのような変化の激しい「社会を生き抜くための力」を育成することが求められています。そして、これからの社会がどんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれが目指す道を切り拓いていってくれることを願っています。

さて、令和8年4月の東・西地区の義務教育学校開校に向け、「保幼小中一貫カリキュラムの作成」「とよの未来科の試行実施」「保育所・幼稚園からの英語活動の検討」など今まで準備してきたことを一つずつ形に仕上げていきます。4月に開校する「東能勢小中学校」では、中期学部の5～6年で教科担任制による授業を導入していきます。西地区では、吉川中学校の長寿命化改修工事の準備が始まります。

このような状況の中、コロナ禍を乗り越え、「豊能町保幼小中一貫教育グランドデザイン」に基づき、地域・保護者・教職員・行政みんなで責任をもって一貫性・継続性・発展性を大切にした「未来を拓く教育」をめざしてまいります。（令和4年度豊能町教育指針より）

「豊能町保幼小中一貫教育グランドデザイン」

テーマ	「豊かな自然」と「豊かな人材」を活かし「豊かな子ども」を育てる
めざす子ども像	豊能町に誇りを持ち、自信をもって社会を生き抜く子ども
進め方	地域・保護者・教職員みんなで責任をもって、一貫性・継続性・発展性を大切にした教育をめざす
重点政策1	○確かな学びと豊かな心の育成 ○グローバル人材の育成 ○学校、家庭、地域の協働した取組み
重点政策2	○東・西地区それぞれに義務教育学校を設け地域とともにある学校づくりを進める（令和8年4月開校予定）

防犯ブザー贈呈式 —虹の会様より—

今年度小学校に入学する児童78名に、「虹の会」様より「防犯ブザー」をいただきました。子どもたちが携帯する防犯ブザーには、①犯罪抑止効果、②緊急事態であることを周囲に知らせる効果があります。毎年贈っていただき、今年で13回となります。

いただいた防犯ブザーは、学校を通じて子どもたちに配布しました。安心安全に登下校するために活用させていただきます。ありがとうございました。



贈呈式にて

ご入学、おめでとうございます。

令和4年度 小・中学校の入学者数

小学校	78名	中学校	85名
合計		163名	

※令和3年度の入学者数は、小学校87名、中学校107名、合計194名でした。



吉川小学校入学式の様子